

[月刊]

2009. NOV

平成21年11月10日

岩手よもっと  
元気になれ!

(財)いわて産業振興センター広報誌

# 産業情報 いわて

Vol.

92



CLOSEUP

岩手力!

## 有限会社青匠回路設計

事業利用企業紹介

募集

いわて希望ファンド地域活性化支援事業  
いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業

お知らせ

第5回いわてビジネスプラングランプリ  
下請かけこみ寺 新事業展開セミナー

報告

合同商談会・北上

GLOSEUP

# 岩手力!

事業利用企業紹介

有限会社 青匠回路設計

過酷な条件下に線を張りめぐらすパターン設計。回路図を読み取り、要求基準を満たす対応能力が求められる。

日々進化する電子機器を舞台裏から支えるパターン設計。青匠回路設計は客先の業務分野を固定化せず、間口を広げて多様な技術ノウハウを蓄積する独自の戦略をとる。田園の中の設計工房から技術世界一を目指して夢を膨らませます。



田園の中のオフィス。客先とのやりとりはほとんどインターネットで行う

## 電子基板の毛細血管

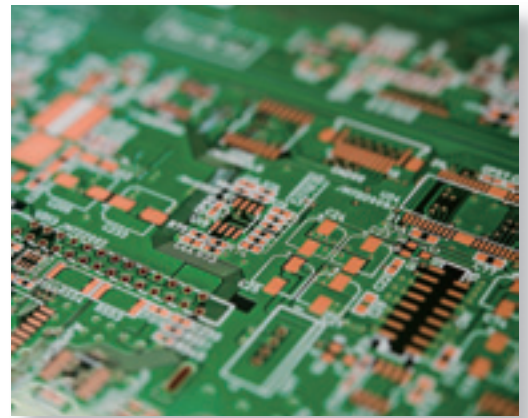
基板に張りめぐらされた毛細血管のような回路。基板上の部品を正しく、効率的に、持続的に作動させるための命綱だ。

客先から送られてきた仕様書、回路図を読みとり、部品データを脇に置いて、その要求を満たすべく、CADを使って1本1本を結線していく。その数1,000本、2,000本という世界。しかも要求は年々高度化、小型化し、短納期化もしている。結線すればいいというだけでなく、回路図の中にはいろいろな情報が盛り込まれており、信号レベルの低い部分、大電力の流れる部分、ノイズの影響を受けやすい部分等々を瞬時に判断し、その機器ごとの機能を100%発揮するように考慮しなくてはならない。「納期が迫ったりすると線が夢に出てきます。あと何本、とか…」

それでもCADができて作業は楽になった。それ以前は電卓をたたいて線の行方をはじき出していた。CADは最初に条件をインプットしておけば計算をしてエラーチェックもしてくれるから基本的なミスは出ない。ということは、CADと専用ソフトがあれば誰にでも一通りのことはできるというわけだが、前述のとおり、大事なことは回路図の読み取りと、それに対応する判断ができるかどうか。

「それができるところがうちの強みだと思います。社員一人ひとりにもできるだけ一

貫生産的に設計できるように仕事をしてもらっています。なかなか時間のかかることですが…」



基板の毛細血管「回路」。部品と部品の間を数千本の線で結ぶ



CADは設計者の労力を激減させてくれた

## 事業の間口を広く

「経営なんか好きじゃない。いいものをつくりたい」

言葉に技術者気質がほとぼしる細川社長。農家の長男に生まれたが、中学生の頃から電気が好きになって「帰って来ること」を条件に上京、専門学校で電気を学んだ。

卒業後、基板設計の道に進み10数年間、技術を蓄えて平成3年独立開業。平成5年には、1級プリント配線板製造技能士資格を取得。平成12年、田園風景の広がる実家の脇に事務所棟を建て、現在、細川社長を初めとする社内5人体制。ほかに社外にオペレーター、サーバー管理の担当スタッフがいる。

「大きな会社1社の下について固定化した仕事をしていれば経営は安定すると思いますが、それでは飽き足らない。やはりいろいろな業種のお客様と幅広くお付き合いしていきたい。それによっていろいろな技術を覚えますから」

今、県内外に百社を超える取引先を持つ。「管理とか営業が嫌で独立したのに、会社を始めたら、結局それをやらざるを得なくなりました」

営業力の弱いところを補うために関係企業の交流の場などにできるだけ参加するようにしている。いわて産業振興センターとの出会いは開業当初、地域商工会の紹介によるもので、以来、先進地視察に参加したり、CAD 導入の際には近代化資金（現在の設備資金貸付）を活用したりと関係が深い。いわて産業振興センターの紹介で新たな取引に結びついたケースもある。

今年は開業以来初となる機械要素技術展に参加。社長を先頭に、従業員が交代でブースに立って会社説明を行った。



「閉鎖的な空間で仕事をしていますので、こうした機会に出ていかないと世の中がわからないし、仕事にも結びつきません。初めてのことで、従業員にもいい刺激になったと思います」

## 技術世界一への夢

ホームページの会社案内に「社内行事 あっぴりレーマラソン参加」とある。自らの健康管理のために始めたジョギングがマラソンになり、社員を巻き込んでのりレーマラソンに発展した。

「42.195キロをみんなで走り繋ぐ。コミュニケーションのため、健康のため」

かつては「飲みニケーション」だったのを健康のためと切り替えた。渋谷参加(?)の声も無いではないが、過去3回参加し、昨年の記録は3時間36分01秒（職場部門）。

いつも従業員の将来のことが念頭にある。

「会社はどうでもいいんです。一人ひとりが最初から最後まで仕事ができるようになればいい。匠になろう。社名もそんな思いつからです。今後は、電気大好き人間でこの分野に関心を寄せてくれる若い人に入社、定着してもらい技術の継承と全社的な技量のレベルアップを図りたいと考えています」

自らは、東京・大田区の工場がNASAの仕事をしているように、いつか社員とともに「世界一」をつくり出したい、という夢を膨らませます。

## 企業概要

- 創業 1991年10月
- 代表取締役 細川 幸雄
- 資本金 300万円
- 事業内容 プリント配線板パターン設計・プリント配線板製作・電子基板実装・回路図作成
- 従業員数 5名
- 所在地 矢巾町大字土橋第6地割54番地  
電話 019-697-8608

URL  
<http://www.sei-pwb.com/>

今月の表紙/写真左から、長田巧さん、似内直宏さん、十門地真澄さん、細川富子さん。回路設計の仕事はほとんどCADとのやりとり。おのずと無口になる。静の中で、数千本の線を引き持久戦がくり広げられる。大きなプロジェクトのときは分業するが、基本的には一人で一貫生産できる体制で、「最近取引先から個人指名で仕事が入るようになりました」と細川社長。

細川 幸雄代表取締役

1953年生まれ。技術屋を自認するが、自然環境への意識が強いのは農業というバックボーンがあるから。「開発という名のもとに自然を壊している。このままでもいいのか。新しいものを求めるだけでいいだろうか」。自らの事業も、将来はより人間の暮らしに寄り添ったものにしていきたいと考えている。時期になれば休日に田植え、稲刈りに出る。毎朝6時からのジョギングは夫唱婦隨。全国各地のマラソン大会に年間5、6回出場するという。



完走証



あっぴりレーマラソンで社員の心を結ぶ



# いわて希望ファンド いわて農

公募  
11/2  
ま

## いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

県内中小企業等の革新的・個性的な取り組みにより地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新に向けた取り組みについて助成金の交付と専門家の派遣等のソフト支援によって総合的に支援します。

### 事業メニュー

#### 〈起業・新事業活動支援事業〉

創業・起業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取り組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発又は事業化、販路開拓、人材養成等～

**【対象者】**・創業する者  
・中小企業者(法人または個人事業者)  
・特定非営利活動法人(NPO法人)、農事組合法人等(地域資源活用枠のみ)

#### ①地域資源活用枠

「地域資源」(農林水産物、鉱工業品またはその生産技術、文化財や温泉等の観光資源など)を活用する事業

**【助成率】**1/2  
(大船渡、釜石、宮古、久慈及び二戸振興局管内の者が同地域で取組む事業は2/3)

**【助成限度額】**200万円**【助成期間】**最長3年以内(原則単年度)

#### ②起業・経営革新枠

創業者(創業・起業から3年以内)が取り組む事業または経営革新計画の承認を受けた事業

**【助成率】**1/2 **【助成限度額】**500万円  
**【助成期間】**最長3年以内(原則単年度)

#### 〈中心市街地活性化支援事業〉

中心市街地や商店街の活性化に向けての革新的な以下の取り組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新役務の開発または企業化、販売促進・販売力強化、業種構成再編・遊休資産活用～

**【対象者】**・中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者  
・小売・サービス業を営む県内に住所のある中小企業者(法人または個人事業者)  
・商工会、商工会議所等  
・知事が適当と認める特定非営利活動法人(NPO法人)

**【助成率】**9/10  
(店舗賃借料については、「店舗賃借料/月×月数(助成対象期間×1/3)の算式によって算出された額の9/10」)

**【助成限度額】**200万円  
**【助成期間】**最長3年以内(原則単年度)

## 第5回いわて希望ファンド地域活性化支援事業採択企業決定

第5回いわて希望ファンド地域活性化事業には、17件の申し込みがありました。その内訳は、起業・新事業活動支援事業の地域資源活用枠が4件、経営革新枠4件、中心市街地活性化支援事業が3件、でした。

8月5日に開催された外部委員における審査会において、下記11件の事業が採択されました。

#### 【採択案件】

No	事業種類	企業名	所在地	事業概要
1	地域資源	株式会社プロ農夢花巻	花巻市	低発泡雑穀新商品の開発と販路開拓
2		株式会社浦嶋商店	大船渡市	地元海産物を活用した冷燻による新企画加工品開発及び製造販売
3		合資会社シャイン	大船渡市	酵素処理したイサダによる食品開発事業
4	経営革新	有限会社木村商店	山田町	地元海産物、岩手県産低アミロース米「ゆきおとめ」を活用した新商品開発・製造販売
5		有限会社電設アーツ	盛岡市	ペアガラス製造における断熱ガスを自動充填する装置の開発
6		株式会社ホップス	盛岡市	複数事業者共同で運営できる「産直システム」のセミオーダー型パッケージソフトの販路拡大
7		大和造園土木株式会社	花巻市	無農薬有機栽培によるブルーベリー摘取園の開設と新商品開発
8	中心市街地活性化	有限会社丸巳建設	一関市	地中熱を活用した岩手(寒冷地)発の家族と地球が長生きできる住宅の開発と販路拡大
9		盛岡駅前商店街振興組合	盛岡市	「開運」をキーワードとした商店街ブランド構築事業
10		株式会社木村設計A・T	花巻市	花巻中心市街地の賢治作品心象スケッチポイント観光・文化資源活用調査事業
11		雫石商工会	雫石町	雫石よしやれ通り商店街の活動拠点施設からの発信による中心市街地にぎわい再生

# 商工連携ファンド公募中です!!

募  
中  
24(火)  
で

## いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携（農商工等連携）を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等への支援を行います。

### 起業・新事業活動支援事業

創業者または経営の革新を行う中小企業者と農林漁業者の連携体を支援します。

#### 対象者

- ・ 県内の中小企業者と農林漁業者の連携体  
⇒ 農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行うもの及びこれらの組織する団体（農協、森林組合、漁協、連合会も可）
  - ・ 中小企業者以外で、県内の特定非営利活動法人等と農林漁業者の連携体
- 注）申請は、中小企業者と農林漁業者の連名で行い、どちらか一方を代表者と定め、センターとの連絡・補助金の受領等を行う

#### 助成対象経費

市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

#### 助成率

1/2以内(県北・沿岸地区は2/3以内)

#### 助成限度額

500万円

#### 助成期間

最長3年以内(原則単年度)

### 農商工連携の事例(平成20年度中小企業長官賞受賞)

青森県下北地方の低アミロース米「ゆきのはな」と地元産魚介類を使った新食感の冷凍押し寿司の開発、製造及び販売

#### 中小企業者：(株)ティメール(八戸市)

地元八戸の海産物を活かした「冷凍押し寿司」を開発していたが、冷凍するとコメがボロボロ・パサパサになり苦戦

#### 新商品開発!



#### 連携

#### 農林漁業者：はまなす農協

ヤマセの影響が強い地域のため、青森県の品種改良による寒冷地に適した低アミロース米「ゆきのはな」の栽培に取り組む。冷凍すると甘味が増し、解凍すると粘りが増す「ゆきのはな」を開発

地元の鮭、鯖等特産品を原料とし、冷凍に適した「ゆきのはな」の適度なねばり、つや、冷めても軟らかくほろほろになりにくいといった特徴を活かした解凍により出来立ての食感を味わえる「冷凍押し寿司」の開発

### 農商工連携の基本的要件

**【1.有機的連携】 中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること**

- 「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します
- 「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的に有効に用いられていることを指します。

**【2.新商品の開発等】 事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産又は需要の開拓が実現すること**

- 「新商品若しくは新役務(サービス)」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことのない新たな商品又は役務であることが必要である。

## 第2回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業採択企業決定

いわて農商工連携ファンド地域活性化事業の第2回公募では3件の申し込みがありました。8月5日開催された外部委員における審査委員会において、下記2件の事業が採択されました。

#### 【採択案件】

No	事業種類	代表企業	所在地	事業概要
1	起業・新事業	株式会社浅沼醤油店・花菜油の会	盛岡市・一関市	無農薬栽培のエゴマ・ナタネでの新商品開発と食材産地の情報発信
2		昭栄建設株式会社・株式会社春の隣	盛岡市	「いわて豊石わさび」ブランド確立と「生工販一体型」事業体制による「わさび文化」の創造

#### 手続きの流れ

- ①公募→②応募(助成金交付要望書提出)→③事業計画ヒアリング→④審査委員会(対象事業の決定)→⑤採択通知→⑥助成金交付申請書提出→⑦助成金交付決定→⑧交付決定通知→⑨事業実施(着手)→⑩フォローアップ→⑪実施事業の確認→⑫助成金の支払い(※原則事業完了後の精算払い)→⑬実施事業の評価

#### お問い合わせ先

(財)いわて産業振興センター 新事業・研究開発支援グループ  
 いわて希望ファンド 担当/菊池修二  
 いわて農商工連携ファンド 担当/漆田英一  
 TEL.019-631-3827 FAX.019-631-3830 E-mail:joho@joho-iwate.or.jp

# IWATE Businessplan Grandprix 第5回 いわてビジネスプラングランプリ



ビジネスプラン発表・公開審査

グランプリ受賞祝賀会(交流会)

# 11/26

(木)

会場:盛岡市・ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング 4階

ビジネスプラン発表・公開審査  
グランプリ受賞祝賀会(交流会)

午前9時から午後5時40分(入場無料)  
午後5時40分から ※希望者のみ(会費3,000円)

**主催** 財団法人いわて産業振興センター

**共催** いわて起業家サポーターネットワーク会議構成機関

岩手県、岩手県商工会議所連合会、岩手県商工会連合会、岩手県中小企業団体中央会、国立大学法人岩手大学地域連携推進センター、公立大学法人岩手県立大学地域連携研究センター、フューチャーベンチャーキャピタル(株)岩手事務所  
岩手県教育委員会

## 《 事業プラン発表者の紹介 》

**【高校生部門】** (学生) 開始時間9時

高校名	独立行政法人国立高等専門学校機構 一関工業高等専門学校(一関市)
事業プラン名	Webキャストを利用したブランド農畜産物の宣伝システムの運用
事業の概要	農場の様子をWeb上でライブ配信することで、安心安全な食品を消費者に訴求するシステムを提供します。
高校名	岩手県立釜石商工高等学校(釜石市)
事業プラン名	低料金シャトルバスの運行による内陸・沿岸買い物客交流事業
事業の概要	内陸の商業施設と釜石のイベント会場間にバスを運行し、双方の顧客増と地域活性化を図る策を提案します。
高校名	岩手県立紫波総合高等学校(紫波町)
事業プラン名	メンズカフェ
事業の概要	盛岡発!男性専用のスイーツカフェ/新感覚スイーツカフェを提案します。甘党男性が一人で気軽に楽しめます。
高校名	岩手県立紫波総合高等学校(紫波町)
事業プラン名	フードサーチ
事業の概要	スーパーの買い物従来より「スピーディー・安全に・楽しく」、便利に検索できるシステムを提供します。
高校名	岩手県立大東高等学校(一関市)
事業プラン名	地域活性化ビジネスプラン~復興からの地域おこしに挑戦~
事業の概要	岩手・宮城内陸地震から1年が経ちます。高校生の取り組みを通して、頑張っているという姿をアピールします。
高校名	岩手県立水沢商業高等学校(奥州市)
事業プラン名	「こざえんちゃハウス」が発信する地産地消による商品開発と情報発信
事業の概要	地元の活性化を目的に、高校生から見た視点で企画開発を行い、その実現に向けて活動する取り組みです。
高校名	岩手県立宮古商業高等学校(宮古市)
事業プラン名	商品開発による地域PRプロジェクト
事業の概要	宮古市の地域資源を活用した開発商品の販売を通して、地域の魅力を広く発信することを目指しています。
高校名	岩手県立宮古水産高等学校(宮古市)
事業プラン名	利用度の低い海藻を利用した食品の開発、及び地元企業からの商品化を目指す事業
事業の概要	「すじめ」を使い、資源の有効利用及び水産業活性化に繋がるような製品開発と商品化を目指す取り組みです。

**【スタートアップ部門】** (一般) 開始時間13時

事業者名	かまいし水産振興企業組合(釜石市)
事業プラン名	食関連産産を一体とした6次産業の新市場開拓
事業の概要	漁業生産者と共に釜石産の水産物消費拡大のため地元浸透と全国発信を同時進行で取り組んでおります。
事業者名	浄法寺漆産業(盛岡市)
事業プラン名	"Japan2.0." 本物の漆を世界へ
事業の概要	日本一の漆産地の強みを活かし、「漆精製」を地元で行い、国内にとどまらず海外の販路開拓にも取り組んでいます。
事業者名	南部たこう焼幸房はっちやねん(八幡平市)
事業プラン名	いわてブランド構築事業~いわて粉ボレーションプロジェクト~
事業の概要	いわての生産者・販売者・南部たこう焼および支援機関のコラボレーションで「いわて」を売ります!
事業者名	株式会社リード(二戸市)
事業プラン名	頭部保護帽子「ほっと安心帽」の開発・製造・販売
事業の概要	帽子に「安全性能」の視点を持ち込み、小さな事故から災害まで日常生活に幅広く「安全・安心」を提供します。

**【イノベーション部門】** (一般) 開始時間14時30分

事業者名	有限会社早野商店(岩泉町)
事業プラン名	食用ホオズキの6次産業化
事業の概要	新食材としての食用ホオズキを生産指導から販売までを一貫して行い、さらに人々を呼べる特産品を目指しています。
事業者名	有限会社マイカープラザ(花巻市)
事業プラン名	ガソリン+LPGハイブリッド自動車への改造
事業の概要	環境にも経済的にも優しく、新たな雇用の創造に寄与する新事業を提案します。
事業者名	株式会社ミッシェル(花巻市)
事業プラン名	岩手県開発小麦100%使用した「白半焼成パン」の開発・販売
事業の概要	家庭用オーブントースター等を使用し、簡単に焼きたてフランスパンを味わうことが出来ます。
事業者名	株式会社ミナカワ(盛岡市)
事業プラン名	生産・流通・販売の三つの徹底管理が実現する収益性の高いブランド椎茸(菌床)の供給
事業の概要	独自の種菌と手法により椎茸栽培に革新をもたらす、新ブランドを確立、日本一の企業を目指します。

※[五十音順]

## 過年度グランプリ受賞者による現況プレゼンテーション

**株式会社オウル(盛岡市)**

岩手県内に点在する古民家や空き家を利用して宿泊村をつくり、古民家の共同オーナー制度、古民家・空き家の修復体験、オーナーや県外のお客様に岩手県産の食材定期便等のサービスを提供する事業が2008年のスタートアップ部門のグランプリ受賞。現在、都市部と地方をつなぐための、農山交流拡大モデル事業の採択を受け、空家情報調査、データベースの構築作業を開始。地域資源と古民家、空き家の活用に向けて活動しています。

**株式会社ヘイブ(盛岡市)**

リサイクル古着店「ドンドンダウン オン ウェンズデー」を店舗展開し、古着や雑貨を主な商材に「毎週水曜ドンドン値下げ」する販売システムや買い取りを全て断らない等の手法によりリサイクル古着の日本一を目指しています。環境にも寄与する「買い手よし、売り手よし、世間よし」のビジネスモデルです。2008年のイノベーション部門のグランプリ受賞。その後、独立行政法人中小企業基盤整備機構主催のベンチャーフェアJapan2009で「ベスト オブ イベント賞」受賞。現在、29店舗展開中。

お問い合わせ

(財)いわて産業振興センター 新事業・研究開発支援グループ

お申し込みは、ホームページよりお願いいたします。【定員150名】 TEL 019-631-3825 FAX 019-631-3830

ホームページ <http://www.joho-iwate.or.jp>

熱心な商談が行われました。

## 「合同商談会・北上会場」を開催（報告）

当センターでは、10月22日（木）ホテルシティプラザ北上（北上市）を会場に、岩手県、北上市の後援をいただき、標記商談会を開催しました。

この商談会は、首都圏を中心とした発注企業から50社87名と、県内外のそれぞれに特色を持つ受注企業の157社233名が一堂に会して、個別商談や情報交換等をしていただいたもので、厳しい経済環境のなか、発注側も受注側もそれぞれ真剣かつ熱心な商談が行われました。

最後に、今回の商談会に参加していただきました受発注企業の皆様に感謝申し上げますとともに、商談等の進展をお祈りします。



## 下請 かけこみ寺

弁護士無料  
相談実施中！

随時受付けています。お気軽にご相談ください。

### かけこみ寺・移動相談所（11月・12月の開催予定）

【一関会場】	（財）岩手県南技術研究センター	11月10日（火） 13:00～15:00
【二戸会場】	二戸広域観光物産センターなにやーと3階	11月18日（水） 13:00～15:00
【久慈会場】	久慈商工会議所	11月19日（木） 10:00～12:00
【宮古会場】	宮古地方振興局	11月25日（水） 10:30～13:00
【釜石会場】	（財）釜石・大槌地域産業育成センター	12月 8日（火） 13:00～15:00
【大船渡会場】	大船渡商工会議所	12月 9日（水） 10:00～12:00

下請かけこみ寺・弁護士無料相談のお問い合わせ先

育成支援グループ 担当/伊藤・村上 TEL.019-631-3822 E-mail:joho@joho-iwate.or.jp

# 新事業展開セミナー

混迷する経済状況の中、新たな事業展開を考えている企業の皆さまに、いま聞いてほしいことをお伝えします。

## 開催日時及び開催場所

### 盛岡会場

日時 平成21年11月27日(金) 13:30~16:30  
場所 岩手県工業技術センター 大ホール  
(盛岡市飯岡新田3-35-2)  
※インターネット通販セミナー 10:00~12:00

### 久慈会場

日時 平成21年12月3日(木) 13:30~16:30  
場所 久慈市役所 3階大会議室  
(久慈市川崎町1番1号)

### 奥州会場

日時 平成21年12月8日(火) 13:30~16:30  
場所 奥州市鋳物技術交流センター 2階研修室  
(奥州市水沢区羽田町明正131)

### 釜石会場

日時 平成21年12月9日(水) 13:30~16:30  
場所 財団法人釜石・大槌地域産業育成センター  
大会議室(釜石市平田3-75-1)

## 内容及び講師

- (1) 地域資源活用プログラム及び農商工連携 (60分)  
講師 中小企業基盤整備機構東北支部
- (2) 経営革新計画 (30分)  
講師 岩手県商工労働観光部経営支援課
- (3) いわて希望ファンド及びいわて農商工連携ファンド (30分)  
講師 いわて産業振興センター  
総合支援グループ  
新事業・研究開発支援グループ
- (4) 個別相談 (50分)

主催 (財)いわて産業振興センター、中小企業基盤整備機構東北支部、岩手県

後援 地域力連携拠点(岩手県商工会連合会、岩手県中小企業団体中央会、盛岡商工会議所、奥州商工会議所、財団法人釜石・大槌地域産業育成センター)、久慈市(久慈会場のみ)

※盛岡会場のみ インターネット通販セミナー 当日10:00~12:00午前開催!

講師・楽天株式会社 店舗開発部 営業開発第一グループ ECコンサルタント 柘植 正基氏



## スタッフからひと言

見やすく、分かりやすく、  
働きやすく

新事業・研究開発支援グループ  
高館 睦

の排除と効率化で、企業経営のお手本として広く知れ渡っておりますが、私はこれを整理整頓の極意と解釈しています。このVMDもまたしかりなのかと思います。

「売場」という言葉を、「職場」や「作業場」に置き換えて読んでみてください。そして、自分が働く現場を頭に思い浮かべてみてください。ぐるりと見渡せば、必ず1つや2つの無駄や非効率が見えてくるのではないのでしょうか。例えば、プリンタの配置が偏っている気がすると、この書類の保管の仕方は本当にこれでいいのだろうかなど。

私は今春まで某アパレルメーカーに勤めておりましたが、思えば「見やすく、選びやすく、買いやすい=美しい」ことこそが売上増に直結する最高の現場方法論で、本社もしかりだと叩き込まれたものでした。

県内企業の皆様におかれましては、改善活動ということで日々様々な取り組みが行われていると思いますが、次の機会は、一度目を見て「見やすく、分かりやすく、働きやすい=効率的」というキーワードで、職場・現場環境を再点検してみたいかがでしょうか。そこから新しい改善が生まれるかもしれません。

厳しい時代ではございますが、こんな時だからこそ足元からしっかりと固めたいものです。VMDではございませんが、当センターにもこのような改善活動を支援するツールが各種ございます。是非ともご活用いただければと思います。

と言っている端から自分の机の上は書類が山積みでした。師走も間近、皆さんもまず自分の机の上からVMDしてみたいかがでしょうか?

ビジュアルマーチャンダイジング (Visual Merchandising) という言葉をご存知でしょうか?あまり耳慣れない言葉かと思います。直訳すると「視覚訴求技術に基づく商品政策」といった感じで非常に伝わり難いですが、一般的には、売場管理における商品の色・形・素材の見せ方、並べ方、売り方から、商品演出、什器・内装・環境計画に至るまで、その店の主張やターゲットへの提案が視覚的に訴求される品揃えの手法というような解釈になります。特に小売業の現場では、VMDなどと頭文字をとった和製英語が生まれるほど日常的に使われています。

最近では、あのユニクロの整然とした売場を想像していただければ分かり易いかと思います。

さて、前置きが長くなりましたが、今回このVMDについて触れたのは、そもそも小売業の陳列手法ですが、これもまた一つの改善につながる術なのかと思ったからです。改善といえば有名なのがトヨタ生産方式で、その肝心要は徹底的な無駄